

令和 2 年度

「利島村教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価」に係わる報告書

- 報告書の趣旨説明
- 「利島村教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」
- 教育に関する学識経験者の意見

令和 3 年 3 月 3 1 日
利 島 村 教 育 委 員 会

令和 2 年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

利島村教育委員会

1 趣 旨

- ・ 利島村教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について、点検及び評価を行い、課題や方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- ・ また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、村民への説明責任を果たし、村民に開かれた教育行政を推進する。

※ 参考（根拠法令）

- ・ 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 実 施 方 法

- （1）毎年度策定する「利島村教育委員会教育目標」を対象とし、点検及び評価を行う。
- （2）点検及び評価は、前年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとし、毎年一回実施する。
- （3）施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、学識経験者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検及び評価を行う。
- （4）教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」を置く。
 - ① 「点検・評価に関する有識者」は、教育に関し学識経験を有する者の中から教育委員会が委嘱する。
 - ② 「点検・評価に関する有識者」の任期は3年とする。（任期の延長・短縮は妨げない。）
- （5）教育委員会において、点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を利島村議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

令和2年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施

利島村教育委員会

※ 評価基準

達成率	100%~75%	74%~50%	49%~25%	24%~0%
評語	A	B	C	D

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の会議の運営

評価	評価根拠
B	・ 定例教育委員会において、利島の教育全般について意見交換をし、様々な案件について協議した。また今年度は新型コロナウイルス感染症関係で対応を議論し、方向性を見いだした。

(2) 教育委員会の会議公開

評価	評価根拠
B	・ 教育委員会毎月の定例会は公開としている。

(3) 教育委員会と村長との連携

評価	評価根拠
A	・ 教育全般について、密に意見交換を行った。村長の方針を踏まえ、様々な教育施策を実施した。学校教育の充実、社会教育の充実、文化財の保護、学童の円滑な実施等について、常に情報共有を図った。また、村長の方針である子育てのしやすい環境づくりの観点から家庭の教育費負担軽減にも引く続き努めた。文化財保護関係では、今年度も利島村伝統文化芸能行事（ふるさと利島に思いを寄せる日）を定着させるべく計画をしたが、新型コロナウイルス感染症対策で縮小して実施せざるを得なかった。

(4) 教育委員の学校支援（学校訪問、学校施設点検）

評価	評価根拠
A	・ 学校長、副校長等と学校教育、学校施設等について意見交換を行った。特に新型コロナウイルス感染症対策について、意見交換を行い、子供たちの健康、安全に留意するよう助言した。

2 教育委員会が管理・執行する事務

(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること

評 価	評価根拠
A	・ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されている教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興は図られている。引き続き、教育大綱、教育委員会目標に則り、基本方針を検討した。

(2) 教育委員会規則・規程の制定・改廃すること

評 価	評価根拠
B	・ 教育委員会規則・規定の見直しは、必要に応じて行っている。

(3) 教育予算等の議会の議決に向けた原案を作成すること

評 価	評価根拠
B	・ 令和2年度予算については、利島の教育の充実発展に資するべく、原案を作成し、要望した。 ・ 村財政の厳しい中ではあるが、教育の質を落とすことのないよう予算要望を行った。

(4) 利島村奨学金制度の事務に関すること

評 価	評価根拠
A	・ 奨学資金貸付事務は滞りなく行っている。「広報としま」でも村民に周知している。

(5) 離島高校生就学支援事業の事務に関すること

評 価	評価根拠
A	・ 平成24年度に立ち上げた制度であり、中学卒業時に保護者に対して広報している。利島出身の高校生は全員利用している。一昨年度、要綱の一部を改正し、補助金の支給期間を3年から在学期間中とした。また昨年度、支給額を3万円から4万円に増額することを議会に上程し、決定した。保護者からは、大変喜ばれている。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 利島村教育大綱、及び教育委員会教育目標の制定・改廃

評 価	評価根拠
A	・教育大綱に則り、利島村教育委員会教育目標は学校の児童・生徒のみならず、島民全体の人としてあるべき姿を想定して制定している。教育目標を中期、長期目標ととらえ、今年度の施策を具体的に表示している。

(2) 人権尊重教育の推進

評 価	評価根拠
A	・児童・生徒が人権の花の栽培を行っている。 ・毎年、人権作文に応募している。 ・毎年、講師を招聘し、道徳授業公開講座を行っているが、今年度は縮小し、実施した。

(3) 社会性を育む教育の推進

評 価	評価根拠
B	・これまで児童生徒が社会性を育む行事（島外学習、修学旅行、中学生海外ホームステイ事業、その他、社会教育分野の活動等）に対して補助金を交付し、活動の活性化を図っている。また、多摩島しょ子ども体験塾に小学生が参加し、劇団四季の観劇や東芝未来科学館、NHK スタジオパーク、東京スカイツリーなどを見学をする予定だったが、中止、または延期して実施した。

(4) 児童・生徒の他地区との交流

評 価	評価根拠
C	・多摩・島しょ広域連携活動助成事業として（利島サマースクール）（ジュニアスキー教室）を夏期、冬季に行い、利島村と檜原村の小中学生が交流を行う予定だったが、中止となった。また、今年度で4回目となる中学生海外ホームステイ事業も中止となった。

4 学校教育

(1) 人権尊重教育の推進

評 価	評価根拠
A 85	・いじめ、差別に関する取組（生活アンケート、SCによる全児童・生徒の個別面談等）の実施と、日常生活における他人との関わり方（挨拶、礼儀等）を重点とする指導を行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・人権月間活動として、人権に関する図書を紹介し人権作文や標語づくりに取り組ませた。中学2年生が、都の人権作文コンテストに応募した。
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 個に応じた学習指導

評 価	評価根拠
A 95	<ul style="list-style-type: none"> ・資格検定の取得に向けて、全校体制で放課後学習教室や家庭との連携に基づく学習支援活動の実施、中学校における定期考査対策として放課後に個別学力補充活動を実施した。 ・習熟度別少人数授業・TT 授業での授業中の個別指導を行うことができた。 ・長期休業中の補習は、夏季休業期間の短縮により今年度は実施しなかった。

(3) 自尊・他尊感情を育て、豊かな心をはぐくむ道德教育

評 価	評価根拠
A 85	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別な教科 道德」を中心に教育活動全般を通して、児童・生徒一人一人の自尊感情を高める道德教育の充実に努めた。 ・行事や諸活動を通して異学年と意見交換や支援・協力すること（時にはトラブルの経験）から、他尊感情を理解し互いを認め合うことの大切さを学んだ。 ・学校長が、児童・生徒への「ほめて認める指導」を推進するように、職員会議等で教職員に周知するとともに、保護者会でも同様の内容で啓発をすることで、児童生徒の自尊感情の醸成に努めた。

(4) 健康の保持・体力の増進を図る教育活動

評価	評価根拠
A 95	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、授業や広報（保健だより、給食だより、栄養士による食育講話）を通して保健指導や食育指導を行うことで、健康や食の大切さについて児童・生徒の理解を深められた。 ・体育授業や体育的行事を通して体力向上に取り組み、特に重点的に行っている、長座体前屈と50m走は、男女共に記録の伸びが見られた。 ・臨時休校中に、体育教諭による希望者対象の運動教室を開催し、8割程度の児童生徒が参加し、また保護者にも好評だった。

(5) 小中一貫教育の継続

評 価	評価根拠
A 90	<ul style="list-style-type: none"> ・小中教員の協働による学習指導が定着し、一層の充実がみられた。 ・9年間の学習指導計画の作成に向けて、月1回の年間指導計画作業日を設定し、

	<p>一部教科において小中教員による教科部会を実施できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の教科書採択事務にあたり、小学校の教員も教科書選定に携わった。
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(6) 生活指導の充実

評 価	評価根拠
A 90	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導部を中心として、問題が発生する前に日頃の生活での乱れに気を付けて、問題行動等の防止対策（注意喚起・事前指導）を行っている。学期末の保護者会では、生活指導主任から講話を行い、保護者との共通理解を図った。 ・職員会議（月1回）やいじめ対策委員会での児童生徒情報交換を通して、定期的に児童生徒の生活指導上の問題について情報共有している。 ・生活指導上の問題が発生した際は、事実確認に基づき管理職及び生徒指導部が指導・対応を検討し、関係教員やSCと連携して本人及び家庭と対応している。

(7) キャリア教育の推進

評 価	評価根拠
A 80	<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生は、島外学習で都立大島高校と都立海洋国際高校を訪問し、進路についての考えを深めることができた。また、小学校では、今年度からキャリアパスポートを活用して、児童生徒の職業観・勤労観の醸成を図るとともに、キャリア教育の4能力（人間関係形成・情報活用・将来設計・意思決定）の発達段階的向上に努めた。

(8) 故郷教育の推進

評 価	評価根拠
A 90	<ul style="list-style-type: none"> ・故郷教育三カ年計画に基づき、3年目の今年度は「利島の未来」をテーマとし、役場、教育委員会、農協、社協、診療所、建設関係等の方々から話を伺い、利島の未来について考えることができた。 ・開校記念朝会で、椿の収穫等の話を島の方から全校で聞いた。

(9) 家庭・地域に開かれた学校

評 価	評価根拠
A 90	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会、文化祭、ロードレース、展覧会等に、保護者に参加いただき、広く連携が深められた。コロナ禍で、地域の方の参加は求められなかった。今年度着任した教職員と地域とのつながりが例年よりも不足することになった。 ・年3回の学校公開週間、年5回の学校公開日を設定し、教育活動を参観できる機会を提供した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小学低学年の社協訪問、音楽部の社協での合唱、中学生の島内職場体験は、コロナ禍により実施できなかった。 ・学校ホームページの公開、通信（学校便り、学年通信、他）の家庭・地域への配布を通して、教育活動をより具体的に知ってもらうようにした。ホームページは、年度当初はシステムの不具合でアップできなかったが、ICT担当の尽力により、日常の活動を発信することができた。 ・年3回の学校運営協議会で学校状況について情報共有する一方で、地域代表として協議員から学校への地域の声を聞き、学校運営に生かした。
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(10) 学校組織を生かした学校経営

評 価	評価根拠
A 90	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の管理職打ち合わせ等、管理職間の報・連・相が十分に行えた。経験の長い副校長に校長から、昇任した副校長へ職務について丁寧に教えるように指示し、副校長各自の役割・責任への自覚が高まり、校務の処理・対応が円滑に行えた。 ・企画運営委員会において、小中分掌主任に経営方針に基づいた業務遂行の徹底を図ることで、自ら率先し他教員への指示・調整を行うことで、円滑に運営が進められた。特に、小学校の教務主幹は、管理職への具申を積極的に行い、教職員への伝達やとりまとめを昨年度よりも的確に行うことができた。 ・教員一人一人の能力を生かせる業務に取り組みせ、実績（成果）を挙げることで自信と意欲が高まり、組織貢献力が育成できた。 ・分掌間の配置転換により、慣れない業務に戸惑う様子も見られたが、その都度、担当者に指導・助言をした。

(11) 教員としての資質・能力向上のための研修活動

評 価	評価根拠
A 85	<ul style="list-style-type: none"> ・島しょ研修、実践事例研修、校内研究会を通して、新学習指導要領における新しい教育を積極的に学ぶことができた。特に、道徳の研修での文科省教科調査官の説明は、分かりやすく教員に好評だった。 ・自己申告時に他教員向けの校内公開授業を年間3回実施し、異校種・他教科の授業から指導方法の工夫・改善について学ぶ機会とした。

(12) 学力向上を図るための方策と成果

評 価	評価根拠
A 90	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で「授業改善プラン」を作成し、児童・生徒の実態に応じた指導の徹底を図った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力定着を図る取組（東京ベーシックドリル・副教材等の活用）に基づいて、基礎知識や技能の反復学習を取り入れることで、概ね定着が図れた。 ・国や都の学力調査は、中止や実施時期がずれたことにより、例年のような成果の確認ができていない。
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(13) 外国語指導、英語指導の取り組みとその成果

評 価	評価根拠
A 85	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT を有効活用するため、小低学年では月 1 回の外国語活動、小中学年では年間 3 5 時間の英語活動、小高学年では年間 7 0 時間の英語の指導を実施した。また、小学生対象に、週 1 回英会話教室（希望者）、EGT（English Game Time）を年 2 回実施し、小学生の英語・英会話への興味関心が高まるとともに、知識・技能においても身に付いてきている。特に発音の向上が見られる。 ・中学校において、全学年毎時間 ALT による指導時間を確保し、ネイティブ英語の聞き取り、英会話での口語表現、英作文等を計画的・重点的な学習として行っており、英語力・英会話力が高まっている。 ・中 2 年対象のオーストラリア留学が今年度は中止のため、文化祭での海外派遣報告等は実施できなかった。

5 社会教育

(1) 芸術文化事業の実施

評 価	評価根拠
C	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都島しょ芸術文化推進事業として、東京都交響楽団員による弦楽四重奏の演奏会、著名なお笑い芸人を招き「利島村春のお笑い劇場」として、演芸の催しを計画したが、共に新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。

(2) 家庭への教育支援推進事業

評 価	評価根拠
A	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の範囲で教育費の無償化を図っている。 ・就学援助・利島村奨学金貸付・離島高校生就学支援事業の執行等、学校保護者負担の軽減に努めている。 ・今年度より、離島高校生修学支援費補助金額を 3 万円から 4 万円に増額した。

(3) 文化財保護の充実

評 価	評価根拠
A	<ul style="list-style-type: none">・学校のふるさと学習に関して、教育委員会として、郷土資料館の展示品や利島の昔の生活について子どもたちに説明した。また東海汽船主催のツアーで郷土資料館において説明等で協力した。・利島村伝統文化芸能実行委員会と連携をし、「ふるさと利島に思いを寄せる日」(伝統文化行事)を行い、失われつつある利島の伝統文化の継承に努めるべく計画をしたが、新型コロナウイルス感染対策のため縮小して実施した。今後も東京都指定の史跡や文化財の保存・整備を進める。・東京都指定史跡大石山遺跡整備工事を行い、整備した。

(4) 地域教育力の活性化

評 価	評価根拠
A	<ul style="list-style-type: none">・放課後子供教室において、子どもたちの居場所作りの一環として、教育課程外の指導を支援している。指導に当たっている団体、また個人に対して教育委員会として補助金を出し支援した。・村民の活動を応援すべく各同好会へ活動に補助金を出している。また、今後とも教育委員会だより等を活用し、それぞれの活動の活性化を図っていきたい。・文化財保護審議会答申を踏まえ、利島村伝統文化芸能事業を行い、失われつつある利島の伝統文化の継承に努めた。

(5) 子供虐待の防止に関する活動の推進

評 価	評価根拠
A	<ul style="list-style-type: none">・村全体で子供の面倒を見るという慣習は利島の良さであり、村民の理解、協力を得て続けていきたい。子供への虐待はないものと認識している。

6 放課後児童クラブ(学童)について

(1) 放課後児童クラブの運営

評 価	評価根拠
A	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナ感染症の影響で縮小して活動を実施せざるを得ない時期もあったが、一年を通して円滑に運営できた。・学習(宿題)指導が定着し、児童が意欲的に取り組んでいる。・指導員の連携がよくとれており、特段混乱もなく順調に運営できた。・保護者との連携にも努めている。

(2) 通所児童の状況

評 価	評価根拠
A	<ul style="list-style-type: none">・主に小学校低学年児童が参加しており、学習と遊びのメリハリをつけ、楽しく活動している。学習指導については、保護者にも喜ばれている。・事故もなく、特に問題もなく、活動できた。また学童として展覧会にも出品した。

7 その他

(1) 施設・設備

評 価	評価根拠
B	<ul style="list-style-type: none">・教育委員会主導で一昨年度整備したテニスコートの活用に努めた。今年度は、台風で破損した倉庫の扉を修繕した。誰もが利用できる体育施設としてさらに整備し、利島のスポーツ振興のために努めたい。・郷土資料館、遺跡等の整備について東京都とも協議し、引き続き進めていく。